政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 戸井　和久：株式会社イトーヨーカ堂代表取締役社長

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|---|---|---|---|
| 経済動向 | | | |
| 1 | 2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。 | 良くなっている | 消費税率引き上げの延期、大手企業が業績改善を背景に賃上げに積極的になっていることから、今年3月以降の景気好転を期待したい。<br>ただし昨年3月は、駆け込み需要の影響から、例えばチェーンストア業界の月次売上は前年比109％（既存店ベース）もの伸びとなった。今は消費が成熟しており、単に価格を引き下げただけでは消費マインドを刺激できない。昨年3月を上回る売上を達成するためには、新商品・魅力ある商品を独自に開発し、店頭に並べ、丁寧な接客で商品の良さを伝えるなどの企業努力が不可欠である。 |
| 経済の好循環実現に向けた取組について | | | |
| ２－１ | 足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。 | － | 業績好調な大企業を中心に、賃金アップを行い消費を拡大していくべきであろう。物価上昇を加味した実質賃金の伸びをプラスに転換していく必要がある。<br>ただし、賃上げは個々の企業の収益状況、あるいは生産性の改善状況などさまざまな与件を考慮して、個々の会社が決定すべき課題である。個々の企業の意思が最大限に尊重されるべきと考えている。 |
| ２－２ | 好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。 | － | 非正規社員の多くは女性および若者である。女性や若者が生き生きと働ける社会環境の整備が何より必要である。企業経営者の立場からは、女性社員雇用や管理職登用、仕事と子育て・育児・介護を両立できる社内体制作りに注力している。『女性や若者が安心して働ける環境作り』を政府が推進することは、非正規労働者などへの強力な支援になると期待する。 |